

東京新聞

夕刊

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

放射線



菅直人首相が記者会見で、政治の役割として述べた「最小不幸社会」。いうまでもなく、世界の人々にとっても必要なことでもある。

幸福は人それぞれの感じ方があるが、不幸には共通の要素がある。人間としての尊厳を保てないことや、存在を脅かされる事態はあってはならないことである。国際協力の分野でよく使われるベシック・ヒューマン・ニーズが奪われている状態、と読みかえてもよい。ベシック・ヒューマン・ニーズとは、人間と

して最低限必要な医療や教育、水、命の安全などをさす。先進国の責任として行われている政府開発援助(ODA)は、世界中の人の不幸を最小にすることを目的としている。数年前にアフリカのカメルーンで、日本のODAで

な水は、感染症を減らし、子どもの死亡率を下げることもつながらず。直接私がかしたわけではないのに、ずいぶん感謝された。

ODAの役割

造られた井戸を視察したことがある。それまでは川や池の水を飲まざるをえなかった村びとたちが、嬉しそうに井戸水をくみあげて飲ませてくれた。安全

六十九億人の世界人口の八割以上は途上国である。途上国の人たちが抱える課題は、私たちの生活を直撃する恐れもある。新型インフルやエイズウイルス(HIV)などの感染症や気候変動、環境問題など、地球規模の課題は山積している。一人ひとりが自分らしく生きられる手伝いをするためODAが求められている。(池上 清子〓国連人口基金東京事務所長)

